


一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

平成28年2月18日

山北町議会議長 府川 輝夫 殿

受付番号	第6号	質問議員	4番	児玉洋一 
件名	1. ユーシン渓谷を更なる観光拠点に 2. 災害時における危機管理体制の強化を			
要 旨				
1. ユーシン渓谷を更なる観光拠点に 観光再生が急がれる丹沢湖・中川温泉エリアの内、玄倉林道～ユーシン渓谷方面へ向かうルートは、新緑や紅葉の名所であり、また渓谷を流れる玄倉川の清流は「ユーシンブルー」の愛称で親しまれ、神奈川県秘境として昨今、インターネットやSNSなどで注目を浴びる魅力あふれる観光地の一つです。 また、周辺に位置する「県立ユーシンロッジ」は、昭和45年に県民レクリエーションの高揚を図ることを目的として県が設立した宿泊施設ですが、林道の閉鎖により、平成19年から現在まで休止状態にあります。しかし、平成23年には新青崩隧道完成に伴い林道が開通し、本年1月にはユーシンロッジの利活用について、県から民間事業候補者の選定に関する発表がありました。ユーシンロッジの運営再開は、ユーシン渓谷を更なる観光拠点として大きな期待ができることから、次の点について質問いたします。 (1) ユーシンロッジ運営再開に合わせた町の観光振興計画は ユーシンロッジの運営再開に伴い、今後ユーシン渓谷の魅力を発信する上で、町として「ユーシン渓谷散策ツアー」や「イベント開催」など、観光面での新たな考えがあるか伺います。 (2) 玄倉林道への車両運行の可能性は 現在の玄倉林道は自転車を含め、許可車両以外通行禁止であるが、ユーシン渓谷を更なる観光地にしていくために、ユーシンロッジまでの定期便の運行や期間を限定してゲートを解放するなど、訪れる観光客が容易にアクセスしやすい環境整備の考えがあるか伺います。				

2. 災害時における危機管理体制の強化を

当町における防災対策については、山北町地域防災計画に則った防災訓練や町民への周知等、様々な取り組みを進めているところだと思っておりますが、本年1月15日に清水地区の道路掘削工事で発生した通信ケーブルの断線事故の際は、山市場付近から以北のエリア全域において、固定電話・携帯電話・FAX・インターネット等、全ての通信手段が遮断される事態となりました。今回は火災や救急など重大な災害こそ起こらなかったものの、ライフラインの途絶は住民の生活に重篤な障害を及ぼすことから、災害時における危機管理体制について質問いたします。

(1) 事故に対する検証と対策は

今回の事故についての報告や発生原因、今後の対策などはこれまでの間、明確な説明はなされていませんが、現段階で町が把握している事故情報の展開、管理責任の明確化、危機管理体制の整備など更なる強化が必要だと思っておりますが、町としての考えを伺います。

(2) 衛星電話やアマチュア無線などの通信手段の整備は

災害時に迅速かつ正確な情報受伝達を行うために、衛星電話の普及やアマチュア無線の活用など、関係機関と連携して早急な整備を行うとともに、町民への周知及び訓練が必要だと思っておりますが、町としての考えを伺います。

以 上